

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【国語】	
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「できる」喜びを感じることで国語学習への意欲を高め、自ら課題を見つけ、追求する態度を育てる。 ・国語科の3つの観点に関わる力を育てる。
評価の観点	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。学年相当の漢字や語彙を理解し、活用することができる。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志や考えをまとめ伝達することができる。相手と円滑なコミュニケーションを進めることができる。 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切に自分の考え・意見をまとめ、相手に伝えることができる。・語彙を豊かにし、適切に自己表現することができる。
評価資料	

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4 月	豊かに想像する	名づけられた葉	<p>[知技](1)エ [思判表]Cエ,Cオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) 	
		セミロングホームルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 		
		文法	<p>[知技](1)オ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動詞の特徴と活用の仕方について理解を深める。 		
5 月	わかりやすく伝える	宇宙に行くための素材	<p>[思判表](Cエ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) 	
		人間はほかの星に住むことができるのか	<p>[知技](1)オ、／[思判表]C(1)イエ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。 ・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 		
		文法	<p>[知技](1)オ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞、形容動詞それぞれの特徴と活用の仕方について理解を深める。 		
6 月	ものの見方・感性を養う	短歌の世界 短歌十首	<p>[知技](2)ア [思判表]Cエ,オ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) ・作品 ・感想文 	
		短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す	<p>[知技](1)エ [思判表]Bウ,オ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 		
		壁に残された伝言	<p>[知技](1)エ [思判表]Cア,オ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 		
7 月		私の読書体験 生涯の友と出会う	<p>[知技](3)エ [思判表]Cオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と 		

			結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。		
8月	論理的に考える	敬語	[知技](1)カ ・敬語の種類や使い方について理解し、話や文章の中で使っている。	・定期考査	
9月	古典に学ぶ	枕草子 徒然草	[知技](3)ア(3)イ [思判表]Cオ ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) ・暗唱 ・作品	
10月	論理的に考える	味は味覚だけで決まらない	[知技](2)ア [思判表]Cウ,オ ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題)	
		漢字を身につけよう	[知技](1)ウ(1)エ ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている		
		漢字のしくみ1 熟語の構成・熟字訓	[知技](1)ウ(1)エ ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		
		手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く	[知技](1)カ [思判表]Bイエ ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。		
11月	論理的に考える	プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する	[知技](2)ア [思判表]Aイ,ウ ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) ・発表	
	古典に学ぶ	漢詩の世界 漢文の読み方 漢詩の形式	[知技](3)ア(3)イ [思判表]Cエ ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。		
	情報を関連づける	マンガ 情報の扱い方 一〇〇年後の水を守る 飲み水は不足しているか 水問題に関する資料 投稿文	[知技](2)ア, (2)イ [思判表]Bア,オ Cイ,ウ ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を	・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題)	

		複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す	得て、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。		
12月	読みを深め合う	文法 助詞・助動詞のはたらき	[知技](1)オ ・助詞や助動詞などはたらき、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) ・作品 	
		類義語・対義語、多義語	[知技](1)エ ・類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		
		小さな手袋	[知技](2)イ [思判表] C イ, C ア ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。		
		創作文 読みたくなるしくみを工夫する	[知技](1)エ [思判表] B イ, C オ ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。		
1月	古典に学ぶ	平家物語	[知技](3)ア, (3)イ [思判表] C エ ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) ・暗唱 	
	視野を広げる	動物園でできること	[知技](2)ア [思判表] C ア, C オ ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題) 	
		論説文 構成を工夫して考えを伝える	[知技](2)ア [思判表] B イ, B ウ ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。		
2月		漢字のしくみ 熟語の読み	[知技](1)ア, (1)ウ, (1)エ ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		

	振り返ってみ つめる	走れメロス	<p>[知技](2)ア [思判表]Cエ, Cオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業のふりかえり ・提出物 (問題集や課題)	
3月		情報誌 地域の魅力を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 		
通年		漢検5級4級の漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定5級・4級の対象の漢字の読み書きができる。 	定期考査 漢字小テスト	

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【社会】	
教科の目標	<p>【地理的分野】 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p> <p>【歴史的分野】 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p>
評価の観点	<p>①知識・技能 【地理的分野】 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p> <p>【歴史的分野】 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p> <p>②思考・判断・表現 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
評価資料	定期テスト、授業プリント、まとめレポート、探求学習の課題、提出物など。

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4月	武家政権の展開と世界	戦国大名がと豪商が担った桃山文化	①安土桃山時代に育まれた歌舞伎や茶の湯などの日本の伝統文化が、現代社会に受け継がれてきたことの意義について、主体的に追究しようとしている。	・提出物 ・定期考査 など	
5月	の動き	幕藩体制の始まり 朱印船貿易から貿易統制へ 四つにしばられた貿易の窓口 琉球王国とアイヌの人々への支配 身分制の下での暮らし	①江戸幕府の成立や、大名の配置と武家諸法度の制定、参勤交代などによる大名の統制を基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ②江戸幕府が貿易の統制を強化した理由を、キリスト教の禁止と貿易の独占という視点から考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③独自の文化や交易の特色を持つ琉球王国とアイヌの人々の社会が、江戸時代にどのように変化したかに着目し、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
6月		安定する社会と諸産業の発達 幕府政治の改革 各地を結ぶ陸の道・海の道 上方で栄えた町人の文化 貨幣経済の広まり 繰り返される要求と改革	①兵農分離がさらに進み身分制が確立するなか、産業や交通が発達し、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ②諸産業が発達した理由や、上方の町人を中心に元禄文化が広がった理由を、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③江戸時代の交通・金融・小売業などの発達や、この時代に定着した行事や生活習慣が現代社会とつながっていることについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ④商品作物と貨幣経済の広まりに伴う経済格差の発生と民衆の動き、幕府の改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治がしだいに行き詰まりを見せたことを理解しているとともに、諸資料から歴		

		江戸時代の庶民が担った化政文化	史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ②幕府が繰り返し改革を行わなければならなかった理由と、江戸の庶民を中心とする文化が栄えた理由について、貨幣経済の広まりと幕府政治の行き詰まりとの関わりにして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③新しい学問の発達や教育機関の広がりが近代の教育の土台となったことに気づき、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。着目して考察し、事象を相互に関連付けるなど		
7月	日本の地域的特色	山がちな日本の地形川が作る地形と海岸や海洋の特色 日本の気候 日本の人口 日本の資源・エネルギー 日本の農林水産業 日本の工業 日本の商業など	①日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。 ②日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている		
8月		九州地方 ・自然環境 ・人々の生活 ・農業 ・産業 中国・四国地方 ・自然環境 ・交通と人々の生活の変化 ・工業 ・農業	①九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、さまざまな情報を調べ、まとめている。 ②九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている ①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化について理解している。 ②中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究しようとしている。	・提出物 ・定期考査 ・長期休みの課題など	
9月		近畿地方 ・自然環境 ・京阪神大都市圏 ・阪神工業地帯と環境問題 ・古都、京都・奈良	①地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および、関連するほかの事象を読み取る技能を身に付け、近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究しようとしている。		
10月		中部地方 ・自然環境 ・中京工業地帯 ・東海の産業 ・中央高地・北陸の産業 関東地方 ・自然環境 ・東京大都市圏 ・臨海部から内陸部へ ・大都市周辺と過疎問題	①さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に追究しようとしている。 ①関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。 ②関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に追究している。		

11月		<p>東北地方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境伝統行事と生活 ・農業工業の発展と人々の生活の変化 	<p>①地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。</p> <p>②東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究している。</p>		
12月		<p>北海道地方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境 ・農産業 ・観光業 	<p>①北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。</p> <p>②冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結びつきや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。</p> <p>③北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち、主体的に追究しようとしている。</p>		
1月	近代国家の歩みと国際社会	<p>欧米諸国における「近代化」市民革命の始まり</p> <p>人権思想からフランス革命へ</p> <p>産業革命と資本主義の成立</p> <p>欧米諸国の近代国家建設</p> <p>世界を目指す欧米諸国</p>	<p>①市民革命と産業革命を経た欧米諸国の世界進出、社会主義の登場の背景や植民地への影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目して、近代化により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米諸国における近代化と市民社会の成立について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・定期考査 ・長期休みの課題など 	
2月		<p>日本を取り巻く世界情勢の変化</p> <p>諸藩の改革と幕府の衰退</p> <p>黒船来航の衝撃と開国</p> <p>江戸幕府の滅亡</p> <p>新政府による改革</p> <p>富国強兵を目指して</p> <p>文明開化と新政府の政策</p>	<p>①欧米諸国のアジア進出に対する清の動きと、日本の開国と貿易の拡大による政治的・経済的・社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の東アジアへの進出が日本の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米諸国における「近代化」の進展と東アジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>①富国強兵や殖産興業の政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が社会や人々の生活に与えた影響について、また、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子について考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
3月		<p>近代国家への歩み</p> <p>新たな外交と国境の画定</p> <p>沖縄・北海道と「近代化」の波</p> <p>自由と民権を求めて</p> <p>帝国憲法の成果と課題</p>	<p>①新政府が岩倉使節団の派遣や国境の画定などの新たな外交を進め、やがて自由民権運動の広がりを背景に大日本帝国憲法が制定されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②大日本帝国憲法と帝国議会の成立過程に着目して、外国との関係や現代の政治とのつながりを考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【数学】	
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。 ・事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
評価の観点	<p>①知識・技能 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を習得している。また、事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を習得している。</p> <p>②思考・判断・表現 事象を数学的にとらえて論理的に課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを身に着けている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、粘り強い取り組みを行おうとしている側面がある。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面がある。</p>
評価資料	授業中の課題、授業に取り組む姿勢、振り返り、定期考査、小テスト、提出物

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4 月	1 章 式の計算	1 節 式の計算	<p>単項式と多項式、次数の意味を理解する。</p> <p>同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法や減法の計算、多項式と数の乗法や除法の計算ができる。</p> <p>単項式どうしの乗法や除法の計算、乗法と除法の混じった計算ができる。また、式の値をくふうして求めることができる。</p>	<p>【授業】</p> <p>授業中の課題</p> <p>授業に取り組む姿勢</p>	
5 月		2 節 文字式の利用	<p>数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。</p> <p>目的に応じて等式を変形することの必要性を理解して、ある文字について解くことができる。</p>	<p>振り返り</p> <p>【全体】</p>	
6 月	2 章 連立方程式 3 章 1 次関数	1 節 連立方程式とその解き方	<p>2 元 1 次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。</p> <p>連立方程式では、1 つの文字を消去して 1 次方程式をつくれれば解けることを理解する。</p> <p>加減法、代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。</p> <p>かつこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式、$A=B=C$ の形をした連立方程式を解くことができる。</p> <p>個数と代金に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。</p>	<p>定期考査</p> <p>小テスト</p> <p>提出物</p>	
7 月		2 節 連立方程式の利用 1 節 1 次関数 2 節 1 次関数の性質と調べ方	<p>速さ・時間・道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。</p> <p>割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。ともなうて変わる 2 つの数量の関係を表すことができるとともに、1 次関数の意味を理解する。</p> <p>1 次関数 $y = ax + b$ では、変化の割合は一定で、a に等しいことを理解する。</p> <p>1 次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1 つの直線であることを理解する。</p> <p>1 次関数のグラフの切片と傾きの意味を理解する。</p> <p>1 次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。</p> <p>グラフの傾きと切片を読みとって、1 次関数の式を求めることができる。</p> <p>グラフの傾きと通る 1 点から、1 次関数の式を求めることができる</p> <p>グラフが通る 2 点から、1 次関数の式を求めることができる。</p>		
8 月				【授業】	
9 月		3 節 2 元 1 次方程式と 1 次関数	<p>2 元 1 次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる 1 次関数のグラフになっていることを理解する。</p> <p>2 元 1 次方程式のグラフをかくことができる。</p> <p>2 元 1 次方程式 $ax + by = c$ で、$a = 0$ や $b = 0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。</p> <p>連立方程式の解が、2 つの 2 元 1 次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2 直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。</p> <p>具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係を 1 次関数とみなして、問題を解決することができる。</p>	<p>授業中の課題</p> <p>授業に取り組む姿勢</p> <p>振り返り</p> <p>【全体】</p> <p>定期考査</p> <p>小テスト</p>	

		4節 1次関数の利用	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。 図形の辺を動く点によってできる図形の面積の変化を、1次関数の式やグラフで表すことができる。	提出物	
10月	4章 平行と合同	1節 説明のしくみ 2節 平行線と角	n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。 n角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。 対頂角の意味を理解し、対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。 同位角、錯角の意味を理解し、平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 三角形の内角の和が180°であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。		
11月		3節 合同な図形	平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。 三角形の合同条件を理解し、2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。 ことがらの仮定と結論の意味を理解する。 根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。		
12月	5章 三角形と四角形	1節 三角形	二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を見いだすことができる。また、正三角形の性質を証明することができる。 二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめることができる。また、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ことがらの逆と反例の意味を理解する。 直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。		
1月		2節 平行四辺形	平行四辺形の定義と性質を理解し、平行四辺形の性質を証明することができる。 平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。 平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統一的・発展的に考えたりすることができる。 長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解する。 長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。また、その逆が正しくないことを反例をあげて示すことができる。 既習の内容を活用して、図形の性質を見だし証明したり、問題の条件を変えて統一的・発展的に考えたりすることができる。 平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	【授業】 授業中の課題 授業に取り組む姿勢 振り返り 【全体】 定期考査 小テスト 提出物	
2月	6章 確率	1節 確率 2節 確率による説明	多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読みとり、説明することができる。 多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を理解する。 起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。 起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。 あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。 身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。		
3月	7章 データの比較	1節 四分位範囲と箱ひげ図	複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。 箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読みとり、批判的に考察し判断することができる。		

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【理科】	
教科の目標	<p>①子どもたちを見つめて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然の事物・現象への興味・関心を高め、身の回りの自然現象を科学的に理解できるようにする。 2. 実験や観察を目的意識をもって行い、過程や結論について「考える時間」を作り、考えようとする姿勢を習慣付ける。 3. 提出物の評価を緻密に行うことで、学習意欲をもたせ、基礎・基本の定着をはかる。 <p>②理科を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然の事物・現象に関心を持ち、その規則性を発見する力を育てる。 2. 自然を調べる方法を学ぶことにより、科学的なものの見方や考え方を身に付ける。 3. 自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決する方法を養う。(生きる力の育成) <p>③私たちの手だて</p> <p>生徒達が、授業に参加しているという実感を持てるような工夫をし、結果としてよくわかったと思える授業を創造する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業を工夫して、自然の現象や現象に興味をもたせる。 2. 考える、また考えたことを表現する(書く・発表するなど)時間を確保する。 3. 実物、具体物をできるだけ多く準備する。 4. 日常生活や、身近な題材に関連付ける。 5. 総合的に学習し、他面的、総合的な見方を育てる一助として、ICT 教材の活用をする。
評価の観点	<p>①知識・技能：自然現象や物理現象について正しく理解できる。観察や実験を目的をもって意欲的に行う。</p> <p>②思考・判断・表現：データや事実にもとづき、科学的に考えようとする。自然現象や物理現象について正しく説明できる。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度：自然現象や物理現象に対して関心を持ち、考えようとする。</p>
評価資料	実験器具の取り扱い、実験に取り組む様子・結果に対する考察、授業中の課題、振り返り、考査、提出物、小テスト

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4 月	[物質] 化学変化と原子・分子 (30)	単元導入 (1) 1章 物質の成り立ち (9) 2章 物質の表し方(4) 3章 さまざまな化学変化 (9) 4章 化学変化と物質の質量 (6) 力だめし、学んだ後にリトライ! (1)	①化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子、2種類の物質が結びつく化学変化や化学変化における酸化と還元、化学変化と熱や質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ②物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ③物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験：実験器具の取り扱い、実験に取り組む様子・結果に対する考察 授業：授業中の課題、授業に取り組む姿勢、振り返り 全体：考査、小テスト、提出物	
5 月					
6 月					
7 月	[生命] 生物の体のつくりとはたらき (34)	単元導入 (1) 1章 生物の体をつくるもの (5) 2章 植物の体のつくりとはたらき (9) 3章 動物の体のつくりとはたらき (12) 4章 動物の行動のしくみ(6) 力だめし、学んだ後にリトライ! (1)	①生物・植物・動物それぞれの体のつくりとはたらきの関係性に着目しながら、細胞のつくりや植物の体のつくり、生命を維持のするはたらき、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ②生物と細胞、植物・動物の体のつくりについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物・植物・動物それぞれの体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ③生物と細胞、植物・動物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験：実験器具の取り扱い、実験に取り組む様子・結果に対する考察 授業：授業中の課題、授業に取り組む姿勢、振り返り 全体：考査、小テスト、提出物	
8 月					
9 月					

10月	【地球】 地球の大気と天 気の変化 (26)	単元導入(1) 1章地球をとり 巻く大気の様 す(4) 2章大気中の水 の変化(6) 3章天気の変 化と大気の動 き(5) 4章大気の動 きと日本の四 季(9) 力だめし、学 んだ後にリト ライ！ (1)	①気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ②気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ③気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験：実験器具の取り扱い、実験に取り組む様子・結果に対する考察 授業：授業中の課題、授業に取り組む姿勢、振り返り 全体：考查、小テスト、提出物	
11月					
12月					
1月	【エネルギー】 電流とその利用 (33)	単元導入(1) 1章電流の性質 (16) 2章電流の正体 (7) 3章電流と磁界 (8) 力だめし、学 んだ後にリト ライ！ (1)	①電流、静電気、電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と電気抵抗、電気とそのエネルギー、静電気と電流の関係や電子、放射線、電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ②電流、静電気や電子、電流と磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらき、静電気や陰極線、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ③電流や電流と磁界に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験：実験器具の取り扱い、実験に取り組む様子・結果に対する考察 授業：授業中の課題、授業に取り組む姿勢、振り返り 全体：考查、小テスト、提出物	
2月					
3月					

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【英語】	
教科の目標	英語によるコミュニケーションの力を高めつつ、それを読み書きの力に統合させる
評価の観点	<p>①知識・技能 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。</p> <p>②思考・判断・表現 外国語を用いて、その場面に応じて、話す・聞く・読む・書くなどの言語活動を積極的に行い、自分の考えや思いなどを表現し合っている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 外国語に関心を持ち、自分自身の目標達成に向けて積極的に授業内容に取り組んでいる。</p>
評価資料	定期考査、授業プリント（ノート貼り付け）、提出物（問題集、スタディサプリ（長期休業）、課題プリント）、授業内小テスト、授業内発表

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4 月	Unit 1 Hajin's Diary	★ I went ～. / How was ～? ・ When I ～, ・ They looked happy.	[R] 日記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる [W] 出来事や感想などを日記に書くことができる	【授業】 授業中に取り組んだプリント、課題、授業中の発表	
5 月	Daily Life 1 電話 Unit 2 Basketball Tournament Daily Life 2 ラジオのニュース	・ This is ～. ・ Can you ～? ★ I don't like playing ～. ★ Hajin wants to ～. ・ I think (that) ～. 既習の言語材料	[SI] 電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる [L] 友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることができる [SI] 企画への希望や意見を、その場で伝え合うことができる [L] ニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えることができる	に取り組む姿勢 【全体】 定期考査、小テスト、問題集・ノート提出	
6 月	Active Grammar 1 Unit 3 Plans for the Summer Daily Life 3 アナウンス Active Grammar 2	動名詞／不定詞 (名詞的用法) ・ I'm going to ～. ・ It will ～. ・ If you're ～, 既習の言語材料 be going to / will	「～すること」の言い方を整理できている [R] メールの用件や、返事が必要なことを読み取ることができる [W] 用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる [L] アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる 未来のことを伝える言い方を整理できている		
7 月	Let's Read 1 The Cookies Daily Life 4 レストラン You Can Do It! 1 「わが町観光プラン」をおすすめしよう World Tour 1 English Around the World	既習の言語材料 ・ Shall I ～? ・ Would you like ～? 既習の言語材料	[R] 物語を読んで、あらすじを捉えることができる [SI] 飲食店で注文をすることができる [R] [W] 相手に合うプランを提案することができる 世界のいろいろな英語を知ろう		
9 月	Unit 4 Tour in Singapore	・ There is [are] ～. ・ Show me your guidebook. ・ something to	[R] グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ることができる [SP] 町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明することができる	【授業】 授業中に取り組んだプリント、課	

	Active Grammar 3	cover 目的語	動詞の後ろにくる言葉を整理できている	題、授業中の発表 に取り組む姿勢 【全体】 定期考査、小テスト、問題集・ノート提出
10月	Unit 5 How Do We Stay Safe? Daily Life 5 電車の乗り換え Daily Life 6 体調不良	・ must / must not ・ have to / don't have to ・ It's ~ (for us) to ・ May I ~? how to ~ ・ Could you tell me the way to ~? ・ should	[L] 災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる [SI] 必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる [SI] 電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしたりすることができる [SI] 体調をたずねたり、助言をしたりすることができる	
11月	Active Grammar 4 Unit 6 Guide Dogs Active Grammar 5 Active Grammar 6	助動詞 ・ She's here to help Fred. ・ ~ because ... ・ I'm glad to hear ~. 不定詞(形容詞的用法・副詞的用法) 接続詞	話し手の考えを動詞に加える言葉を整理できている [R] 紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる [W] わかりやすい文章構成で、紹介記事を書くことができる to+動詞の原形が表すいろいろな意味を整理できている 文と文をつなぐ言葉を整理できている	
12月	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru You Can Do It! 2 誰もが楽しめるイベントを提案しよう Daily Life 7 オンラインツアー World Tour 2 Working Around the World	既習の言語材料 既習の言語材料 既習の言語材料	[R] インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる [L] [SP] 自分の意見や考えを伝えることができる [R] オンラインツアーの案内から、必要な情報を読み取ることができる 世界で活躍する人について知る	
1月	Unit 7 Working Together Active Grammar 7	・ bigger than / the biggest ・ more exciting / the most exciting ・ as tired as ~ 比較表現	[L] ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる [SI] 複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合うことができる 何かを比べて説明する言い方を整理できている	【授業】 授業中に取り組んだプリント、課題、授業中の発表 に取り組む姿勢 【全体】
2月	Unit 8 Performing a Play Active Grammar 8 World Tour 3 NewSeven Wonders of the World	・ want you to help ~ ・ make me nervous ・ was received by ~ 受け身の文	[R] 手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることができる [W] 意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くことができる 何かをされていると説明する言い方を整理できている 世界のワンダーについて知る	定期考査、小テスト、問題集・ノート提出
3月	Let's Read 3 Emojis—From Japan to the	既習の言語材料	[R] 説明文を読んで、おおまかな内容を捉えることができる	

<p>World You Can Do It! 3 かるたで地域の PRをしよう Let's Read More 1 Plastic Food Samples Let's Read More 2 Ainu, My Voice</p>	<p>既習の言語材料 既習の言語材料 既習の言語材料</p>	<p>[L] [SI] 説明や描写をすることができる [R] 記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる [R] 映像作品を紹介したブログを読んで、おおまかな内容を捉えることができる</p>		
--	--	--	--	--

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【音楽】	
教科の目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
評価の観点	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価資料	実技テスト(歌唱、器楽)、ワークシート(歌唱、器楽、創作、鑑賞)、提出物、定期テスト、授業中の活動の観察

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4月	・パートの役割	歌唱	<p>①</p> <p><歌唱></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 <p><器楽></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言内容 ・ワークシート ・演奏の聴取 ・実技テスト ・定期テスト 	
5月	割を理解し	器楽			
6月	て、歌唱表現	鑑賞			
7月	を工夫しよう	創作			
	・曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、その魅力を味わおう				
	・曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう				
	・リコーダー演奏				
8月	・音の重なり	歌唱	・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴		

9月	方や反復、変	器楽	<p>きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</p> <p><創作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 <p>評価規準</p> <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 <p>②</p> <p><歌唱・器楽・創作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 <p>・(上記下線部と同様)、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>・(上記下線部と同様)、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>③</p> <p><歌唱・器楽・創作・鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 		
10月	化を理解し	鑑賞			
11月	て、創作表現	創作			
12月	を工夫しよう				
	・曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう				
	・オペラに親しみ、その魅力を味わおう				
	・文楽や歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう				
	・箏の魅力を味わおう				
	・リコーダー・ギター演奏				
1月	・世界の様々	歌唱			
2月	な音楽の特徴	器楽			
3月	を理解して、その魅力を味わおう	鑑賞			
	・言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	創作			
	・仲間とともに、表情豊かに合唱しよう				
	・ギター演奏				

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【美術】	
教科の目標	<p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>
評価の観点	<p>①知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて表現方法を工夫して表している。</p> <p>②思考・判断・表現 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価資料	表現や鑑賞の活動の様子、作品、ワークシート

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4月 ～ 7月	紙で建築をつくろう	A 表現(1)イ デザイン	<p>①材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。</p> <p>①材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。</p> <p>②伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p>	表現の活動の様子、作品、振り仮シート	
8月 ～ 9月	西洋美術史の探求	B 鑑賞(1)ア、イ	<p>②造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>②目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>③身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p> <p>③諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>	鑑賞の活動の様子、デジタルワークシート、振り返りシート	
10月 ～ 11月	プロダクトデザイン	A 表現(1)イ、A 表現(2)イ	<p>①材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。</p> <p>①材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、</p>	表現の活動の様子、ワークシート、作品、振り返りシート	

			見通しをもって表すこと。 ②伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。		
12月 ～ 1月	日本美術史の探求	B鑑賞(1)イ	②造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。 ②目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。 ③日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。	表現や鑑賞の活動の様子、作品、振り返りシート	
1月 ～ 3月	木彫	A表現(2)イ 工芸	①材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 ①材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 ②伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。	表現の活動の様子、作品、振り返りシート	

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【保健体育】	
教科の目標	<p>○体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することをめざす。</p> <p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
評価の観点	<p>①知識・技能 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p> <p>②思考・判断・表現 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p>
評価資料	○授業に取り組む姿勢（欠席、遅刻、授業態度、忘れ物等） ○提出物 ○実技テスト ○定期考査

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4月 5月	集団行動(男女) 体づくり運動(男女)	基本動作 ラジオ体操第一 スポーツテスト	①決まりを理解し、能率よく行動できるようにする。 ②号令に応じて自らで判断し、機敏かつ的確に行動できるようにする。 ②自らの運動能力を把握し、普段の日常生活で生かせるようにする。 ③積極的に参加し、体力の向上や記録の更新を目指す	・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・提出物	
5月 6月	陸上競技 [走り高跳び](女子) 器械運動 [跳び箱](男子)	跳躍種目 はさみ跳び、ベリーロールなどの技術の習得 開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転などの技の習得	①リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。 ①跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。 ③自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。 ①技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ①切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、着手位置や姿勢などの条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・実技テスト ・定期考査	
6月 7月 8月	水泳(男女)	クロール 平泳ぎ	①手と足の動き、呼吸のバランスなどの基本的な泳ぎ方を身につけ、クロールは速く泳ぎ、平泳ぎは長く泳ぐことができる。 ③自分の目標タイムを意識して泳ぐことができる。		
9月	器械運動 [跳び箱](女子) 卓球(男子)	開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転などの技の習得 ラリー練習 ゲーム	①技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ①切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、着手位置や姿勢などの条件を変えた技や発展技を行うことができる。 ①ラケットの操作によってラリーを継続しやすい位置にボールを返すことや、相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 ③互いに協力して練習やゲームを行うとともに、ルールやマナーを守り安全に留意して活動できる。		

10月 11月	ソフトボール (女子)	送球、捕球、打撃、走塁などの技術の習得	①技術の名称や行い方などを理解し、安全に配慮して活動することができる。 ①基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・提出物 ・実技テスト ・定期考査
	柔道 (男女)	礼法、受け身、固め技などの技術の習得	①武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方について理解している。 ①③それぞれの受け身、固め技の方法を正しく理解し、相手・自分ともに安全に取り組めるようにする。 ③相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を身につける。	
	陸上競技 [走り高跳び] (男子)	跳躍種目 はさみ跳び、ベリ ーロールなどの 技術の習得	①リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。 ①跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。 ③自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。	
12月 1月	陸上競技 [中・長距離走] (男女)	1500mの測定	①自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走り、一定のペースで走ることができる。 ③自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。	
2月 3月	ダンス (男女)	グループによる 創作ダンス	③ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間と協力してダンスを創作し、踊ることができる。	
通年	体育理論	スポーツの意義 や効果と学び方 や安全な行い方	①運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。 ②運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。 ③運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。	
	保健	健康な生活と病 気の予防②	①健康な生活と疾病の予防について理解している。 ②健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ③健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		傷害の防止	①傷害の防止について理解しているとともに、応急手当についての技能を身に付けている。 ②傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 ③傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【技術】	
教科の目標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	<p>①知識・技能</p> <p>生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会との関わりの理解。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力。</p> <p>③主体的に学びに向かう態度</p> <p>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度。</p>
評価資料	授業に取り組む態度、実習物、作品、提出物、レポート、授業プリント、振り返りシート、定期テスト

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4月	エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組みについて	・エネルギー変換の技術とは	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換・エネルギー変換について理解する。 ・発電の仕組みと特徴について理解する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源の種類と特徴や送電・配電の仕組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む姿勢 ・授業ファイル ・授業プリント ・定期考査 ・提出物 	
5月		・電気回路について	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気回路の仕組みについて理解する 		
6月 7月		・運動エネルギーへの変換と利用	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械が運動を伝える仕組みについて理解する。 ・運動の種類とエネルギー変換について理解する。 		
8月 9月 10月 11月 12月	エネルギー変換の技術による問題解決	・電気機器を安全に使用する技術のための技術	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気機器の安全な使い方について理解する。 ・部品を適切に調節しながら組み立て、製作品を製作できる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気による事故を防ぐ方法について考えることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作品の設計や製作の手順を知り、設計要素を検討し、エネルギー変換を利用した製作品を設計することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む姿勢 ・授業ファイル ・授業プリント ・夏休みの宿題 ・定期考査 ・実習物 ・提出物 	
1月		・回転運動を伝える仕組み			
2月 3月		・ラジオ製作 ・機械の共通部品と保守点検の大切さ			
	生物育成の技術	・生物を育てる技術とは	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む姿勢 ・授業ファイル 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・作物の育成環境を調節する技術 ・動物・水産生物を育てる技術を知ろう ・生物の育成計画を立てよう ・基礎技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の育成環境を調節する技術について理解する。 ・動物を健康に育てるための技術について理解する。 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解する。 ② ・育成する作物にて適した環境条件を考えることができる。 ③ ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・定期考査 ・観察記録 ・提出物
--	--	---	--	---

令和 8 (2026) 年度 2 年生 年間指導計画 【家庭】	
教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを旨とする。
評価の観点	<p>①知識・技能 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>②思考・判断・表現 これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価資料	授業に取り組む態度、実習物、作品、提出物、レポート、授業プリント、振り返りシート、定期テスト

時期	単元名	学習内容	観点及び評価規準	評価場面・方法	備考
4 5 6 7	B 衣食住の生活	<p>①食事の役割</p> <p>②健康によい食習慣</p> <p>①中学生の発達に必要な栄養を満たす食事</p> <p>②栄養素のはたらきと 6 つの基礎食品群</p>	<p>・食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもち、</p> <p>・健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。</p> <p>・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。</p> <p>・食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。</p> <p>・中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。</p> <p>・1回の食事を目で見ても栄養のバランスがとれているか判断できる。</p>	授業に取り組む態度、 実習物、 作品、 レポート、 授業プリント、 振り返りシート、 提出物、 定期テスト	
6. 献立づくり	献立づくり	献立づくり	・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。		
8 9 10 11 12	3. さまざまな食品とその選択	<p>①生鮮食品の選択と保存</p> <p>②加工食品の選択</p> <p>③食品の安全と情報</p>	<p>・生鮮食品の特徴がわかる。</p> <p>・目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。</p> <p>・加工食品の特徴がわかる。</p> <p>・目的に応じて加工食品を選択できる。</p> <p>・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもち、</p>		
7. 持続可能な食	①持続可能な食	①持続可能な食	・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫する		

	食生活	生活をめざして	ことができる。		
	4. 日常食の調理	①調理の計画 ②おいしさと調理 ③ますます好きになる肉の調理 ④こんなにおいしい魚の調理 ⑤好きになる野菜の調理	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できる。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 		
	5. 地域の食文化	①地域の食文化 ②日本各地の郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 		
1 2 3	B 衣食住の生活 1. 住まいのほたらきとこちよさ	①住まいのはたらき 住まいの空間	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割について理解する。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・住まいの空間の使い方について理解する。 ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。 		
	2. 安全な住まいで安心な暮らし	①家庭内事故への備え ②災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ・地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 		
	3. 持続可能な住生活	①持続可能な生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。 		